※令和４年度以降入学生用

学校番号	407

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「現代高等保健体育」　（大修館書店）						
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「健康」とはなにかを理解し、自身の健康保持増進の関心をもとう。
・健康的な行動をとるために必要な知識を学習しよう。
・生活習慣病にならないために様々な面から「健康」について学習しよう。
・安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であることや、交通事故を防止するには、車両の特性の理解や、安全な運転や歩行など適切な行動について学習しよう。
・傷害や疾病の悪化を軽減できることために、応急手当の正しい手順や方法を学習しよう。
・心肺蘇生法などの救命処置について学習しよう。

２　学習の到達目標

・生涯を通じて自らの健康の保持増進する為の知識を身につけ、ライフステージと健康の関係について理解する。（知識及び技能）
・健康についての課題を考え、各課題の解決に向けて、他者の意見を取り入れながら、思考したりすることができる。（思考力、表現力、判断力等）
・自他のライフステージや自分を取り巻く環境など社会的な取り組みに関心をもち、生涯を通じて健康に生活する姿勢を養う。（学びに向かう力、人間性等）

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し､明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生涯を通じる健康	オリエンテーション ライフステージと健康 思春期と健康 性意識と性行動の選択 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康 中高年期と健康	a：思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面，心理面，行動面などの変化に関わり，健康課題が生じることがあることについて，理解している。結婚生活について，心身の発達や健康の保持増進の観点から理解している。受精，妊娠，出産とそれに伴う健康課題について，理解している。家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて，理解している。高齢期には，加齢に伴い，心身の機能や形態が変化すること，その変化には個人差があること，疾病や事故のリスクが高まること，健康の回復が長期化する傾向にあることについて，理解している。（知識） b：生涯の各段階における健康について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について，習得した知識を基に，心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために，性に関わる情報を適切に整理している。 c：生涯の各段階における健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 考査	授業観察 ワークシート 考査	授業観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

２ 学期	生涯を通じる健康 健康を支える環境づくり	働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活 大気汚染と健康 水質汚濁，土壌汚染と健康 環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備	a：労働による傷害や職業病などの労働災害は，作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことについて，理解している。労働災害を防止するには，作業形態や作業環境の改善を含む健康管理と安全管理が必要であることについて，理解している。働く人の日常生活においては，積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることについて理解している。人間の生活や産業活動は自然環境汚染を引き起こし，健康に影響することがあるということについて，理解している。健康への影響や被害を防止するために環境基本法などの法律等が制定されており，環境基準の設定，排出物の規制などの総合的・計画的対策が講じられていることについて，理解している。 環境衛生活動は，自然環境や社会生活における環境，及び人々の健康を守るために行われていることについて，理解している。（知識） b：労働と健康について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。働く人の健康の保持増進について，習得した知識を基に，生活の質の向上を図ることと関連付けて，課題解決の方法に応用している。 c：労働、環境と健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 考査	授業観察 ワークシート 考査	授業観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

３ 学期	健康を支える環境づくり	食品の安全性 食品衛生にかかわる活動 保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 医療品の制度とその活用 さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加	a：食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて，理解している。食品衛生法などの法律等が制定されており，様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや，食品の製造・加工・保存・流通など，各段階での適切な管理が重要であることについて，理解している。人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し，行政及びその他の機関などから健康に関する情報，保健・医療サービスなどが提供されていることについて，理解している。 疾病からの回復や悪化の防止には，個々の医薬品の特性を理解した上で，使用法に関する注意を守り，正しく使うことが必要であることについて，理解している。 自他の健康を保持増進するには，ヘルスプロモーションの考え方に基づいた，健康に関する環境づくりが重要であることについて，理解している。 （知識） a：適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解しているとともに、心肺蘇生法などの応急手当の技能を身に着けている。（技能） b：食品と健康について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 c：保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 考査	授業観察 ワークシート 考査	授業観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度